

架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 15 「ナミブ砂漠・フィッシュリバー溪谷」号

1、ナミブ砂漠

(2022 年 10 月発行)

今回は、ナミビア共和国の美しい自然の様子についてお伝えします。

ナミビア共和国には、約 5500 万年～8000 万年前に形成され、世界自然遺産に登録されているナミブ砂漠があります。ナミブとは、現地のコエコエ語で「広い所・何もない所」という意味で、その言葉の由来の通り、視界をさえぎるものが何もない広大な景色がそこには続いていました。そして、そのナミブ砂漠の中には、デッドフレイと呼ばれる干上がった沼地やビッグダディ、デューン 45 と呼ばれる有名な砂丘などがあります。それらの場所へ訪れた時の様子をご紹介します。

日の出前に出発する	砂丘が連なる道を走る
	
宿泊施設を 6 時に出発し、6 時 50 分に国立公園の門が開くのを待ちました。	国立公園に入ると砂丘が連なる道が続きます。デューン 45 を通過しました。
四駆車に乗り換える	朝日と共に到着する
	
普通車だと砂漠の砂にタイヤが埋まるので四駆車に乗り換えました。	四駆車を降りた頃にちょうど朝日が昇ってきました。

砂漠の道を歩く	デッドフレイ（枯れた沼地）に着く
	
四駆車を降りてから 15 分ほど砂漠の道を歩きました。	約 1000 年前は沼地でしたが、乾燥により塩や粘土などが石灰化しました。
太陽が昇るのを待つ	枯れ木を見る
	
大きな砂丘により太陽が隠れ、デッドフレイ内に影ができています。	生えていたアカシアの木が枯れ、分解されることなく残っています。
ビッグダディ（砂丘）に登る	オリックスに出会う
	
高さ約 325m とデッドフレイの中で一番大きな砂丘に登りました。	国立公園内の帰り道にオリックスと出会いました。

砂丘の上からは、日本で見ることのできない壮大な景色を目の当たりにしました。地球の大きさを肌で感じ、自分たちが生きる星の美しさを知りました。

2、フィッシュリバー溪谷

ナミビア共和国には、アメリカのグランドキャニオンに次いで、世界で2番目に大きな「フィッシュリバーキャニオン」という溪谷があります。その長さは160km、幅は最大で約27km、深さは最深で550mです。そして、そこにはナミビア共和国で一番長く、650kmある「フィッシュリバー（川）」が流れています。フィッシュリバーキャニオンは、その川の水の浸食によって約5億年以上前に形成されました。

私は参加しませんでしたでしたが、フィッシュリバーキャニオンには5日間かけて谷底を歩くトレッキングツアーがあります。そして、その終着点にはアイアイスと呼ばれる天然温泉があり、長距離歩行の疲れをそこで癒すことができるそうです。

サンセットの様子	サンライズの様子
	
奥に見えるのがフィッシュリバーです。視界に入り切らない景色でした。	朝日が昇るにつれて谷底の影が手前に移動してきました。
クイバーツリー	スプリングボック
	
通貨 50 セントの絵柄でナミビア南部と南アフリカ北部のみに見られます。	道中にスプリングボックやオリックスなどの動物と出会いました。